


# JAバンク静岡における地域密着型金融の 取組状況について（令和元年度）

---

令和2年8月





JAバンク静岡（県下JA・静岡県信連）では、農業と地域社会に貢献するため、地域密着型金融の推進に取り組んでおります。

今般、令和元年度における地域密着型金融の取組状況について、以下のとおり取りまとめましたので、ご報告いたします。

# 目次

- I 農山漁村等地域の活性化のための融資をはじめとする支援の一層の強化**  
(JAバンク静岡の農業メインバンク機能強化への取組み)
- II 担い手の経営のライフステージに応じた支援の一層の強化**
- III 経営の将来性を見極める融資手法はじめ、担い手に適した資金供給手法の徹底**
- IV 農山漁村等地域の情報集積を活用した持続可能な農山漁村等地域育成への貢献**

# I 農山漁村等地域の活性化のための 融資をはじめとする支援の一層の強化 (JAバンク静岡の農業メインバンク機能強化への取組み)

JAバンク静岡は、地域における農業者との結び付きを強化し、地域を活性化するため、次の取組みを行っています。

## 1. 農業融資商品の適切な提供・開発

- JAバンク静岡は、各種プロパー農業資金を提供するとともに、農業近代化資金や日本政策金融公庫資金の取扱いを通じて、農業者の農業経営と生活をサポートしています。
- 令和2年3月末時点におけるJAバンク静岡の農業関係資金残高<sup>(注1)</sup>は33,503百万円、日本政策金融公庫の受託貸付金<sup>(注2)</sup>残高は11,570百万円となっています。

(注1) 農業関係の貸出金とは、農業者及び農業関連団体等に対する貸出金であり、農業生産・農業経営に必要な資金や、農産物の生産・加工・流通に関係する事業に必要な資金等が該当します。

(注2) JAバンク静岡が農業者の窓口となり、日本政策金融公庫などの貸付金の受託取扱いを行っています。受託貸付金残高には、JA転貸分を含みます。

## 【営農類型別農業資金残高】

(単位：百万円)

類型	令和2年3月末
農業	32,680
穀作	1,717
野菜・園芸	9,290
果樹・樹園農業	2,896
工芸作物	4,869
養豚・肉牛・酪農	1,174
養鶏・鶏卵	520
養蚕	—
その他農業	12,212
農業関連団体等	822
合計	33,503

※「その他農業」には、複合経営で主たる業種が明確に位置づけられない者、農業サービス業、農業所得が従となる農業者等が含まれています。

※「農業関連団体等」には、JAや経済連とその子会社等が含まれています。

### 【資金種類別農業資金残高】

(単位：百万円)

種類	令和2年3月末
プロパー資金	22,308
農業制度資金	11,194
うち農業近代化資金	5,089
うちその他制度資金	6,104
合計	33,503

※「プロパー資金」とは、JAバンク原資の資金を融資しているもののうち、制度資金以外のものをいいます。

※「農業制度資金」には、①地方公共団体が直接的または間接的に融資するもの、②地方公共団体等が利子補給等を行うことでJAバンク静岡が低利で融資するもの、③日本政策金融公庫等が融資するものがあり、ここでは①③の転貸資金と②を対象としています。

※「その他制度資金」には、農業経営改善促進資金(スーパーS資金)や農業経営負担軽減支援資金などが該当します。

### 【農業資金の受託貸付金残高】

(単位：百万円)

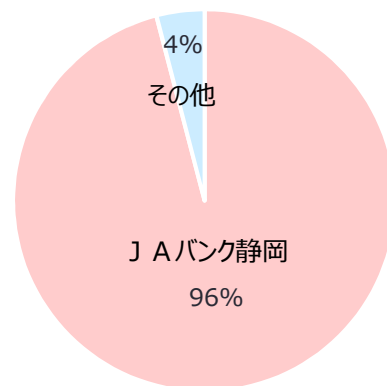
種類	令和2年3月末
日本政策金融公庫資金	11,570
その他	—
合計	11,570

※ JAバンク静岡では、主にはJAを窓口として、日本政策金融公庫資金の受託貸付金を取扱っています。

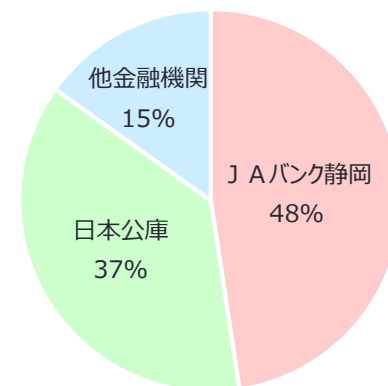
- JAバンク静岡は主要な農業関係の制度資金である、農業近代化資金の取扱い及び農業融資残高においてトップシェアとなっています。

### 【静岡県の農業近代化資金の取扱い及び農業融資残高シェア】

農業近代化資金 融資残高シェア  
(令和2年3月末時点)  
出所：静岡県



農業融資残高  
(令和2年3月末時点)  
出所：JAバンク静岡、日本政策金融公庫





## 2. 担い手のニーズに応えるための取組み

- JAバンク静岡では、地域の農業者のニーズに応えるため、様々な取組みを行っています。
- JAでは、本支店の農業融資担当者が、営農・経済部門等と連携しながら、農業融資に関する資金提案や経営相談対応等を実施しています。また、県内17JAの本支店には30名の「担い手金融リーダー」が配置され、JAの農業融資に関する活動をサポートしています。
- 静岡県信連では、JAのサポート指導機能、農業法人等への融資相談機能を担う「県域農業金融センター機能」を構築し、これらの機能の拡充・強化に努めています。

## Ⅱ 担い手の経営のライフステージに応じた支援の一層の強化

JAバンク静岡は、担い手をサポートするため、ライフステージに応じて、次の取組みを行っています。

## 1. 次世代農業者の育成支援

- JAバンク静岡では、新規就農者の経営と生活をサポートするため、青年等就農資金などを取扱っています。

### 【新規就農者をサポートする資金の取扱実績】

(単位：百万円)

資金名称	令和元年度 実行件数	令和元年度 実行金額	令和2年3月末 残高
青年等就農資金	39	643	2,164
就農支援資金	—	—	434
合計	39	643	2,598

## ～農畜産業の担い手となる学生の研究等の費用を支援～

- JAバンク静岡では、「JAバンク静岡アグリサポートプログラム」における担い手育成支援事業として、農畜産業の担い手の育成や地域農業基盤の振興・発展及び地域活性化に繋げることを目的に、平成28年度より県内の公立農業高校や農林大学校の学生が行う研究等に対して、費用助成を実施しております。
- 令和元年度については、対象校（県内の公立農業高校11校）が実施する17の研究等に対して、総額416万円の助成を実施し、令和元年7月22日に静岡県教育委員会に目録を贈呈いたしました。



写真左  
静岡県信用農業協同組合連合会  
前代表理事理事長 堀内 達也

写真右  
静岡県教育委員会  
教育長 木苗 直秀 様

## 2. 食農バリューチェーン構築による農業・地域の成長支援 (商談会・ビジネスマッチング)

- JAバンク静岡では、農林水産業の事業力・収益力強化のため、行政や系統団体等と連携し、商談会・ビジネスマッチングによる販路拡大支援等の農工商連携に取り組んでおり、「農業者と産業界の架け橋」として多様な機能を発揮しています。

### 【商談会等開催状況】

商談会名	開催日	主催者	参加団体数	総来場者数	内容
ふじのくに 総合食品開発展 2020	令和2年 1月16日	静岡県 静岡県のJA 静岡県産業振興財団	125団体	935名	県下JA等が主催・出展 670件の商談が実施
沼津Local Food Meeting	令和元年 11月13日	沼津市・JAなんすん・ 沼津商工会議所	31団体	42名	地場農水産品を使用したメニューの試食や生産者・取扱業者等との交流・商談を行う
JAなんすん 農産品商談会	令和2年 1月22日	JAなんすん	12団体	26名	地産地消促進のため、 地元企業との商談会を JAが主催

### 3. 被災農業者への支援

- JAバンク静岡では、災害により被災した農業者や、厳しい経営環境におかれている農業者の資金調達費用負担軽減のため、利子補給や保証料助成の実施のほか、災害対策資金を対応しています。

【令和元年度中の支援額（単年度）】

（単位：件、百万円）

支援項目	支援主体	内容	件数	助成等金額
平成24年台風4号静岡県災害緊急特別対策利子補給の実施	静岡県信連	平成24年台風4号で罹災した農業者に対し、県下JAの農業資金に係る利子補給	利子補給件数 40	利子補給額 0.02
平成30年台風24号静岡県災害緊急特別対策利子補給の実施	静岡県信連	平成30年台風24号で罹災した農業者への対応として、県下JAの農業資金に係る利子補給	利子補給件数 25	利子補給額 0.04
JAバンク静岡保証料助成の実施	静岡県信連	原油・肥料・飼料価格等の高騰への対応として、県下JAの農業資金の借入者が静岡県農業信用基金協会に支払う保証料の助成	保証料 助成件数 1,173	保証料 助成額 145.3
JAバンク静岡利子助成の実施	静岡県信連	原油・肥料・飼料価格等の高騰への対応として、県下JAの農業資金借入者に対する利子助成	利子助成件数 33	利子助成額 0.08
合計（利子補給・助成、保証料助成）			1,271	145.4

(単位：件、百万円)

取組事例	JA名	内容	件数	実行金額
令和元年度台風19号 災害対策支援資金の対応	JA伊豆太陽 JA三島函南 JA伊豆の国 JAハイナン JA遠州夢咲	台風で農畜産物の被害を受けた組合員に 対し、低利の資金を対応	18	55.6
令和元年度降雹被害 対策支援資金の対応	JA遠州中央 JAみっかび	降雹で畜産物の被害を受けた農業者に 対し、低利の資金を対応	14	30.5
平成30年台風24号 災害対策資金	JA伊豆の国 JAなんすん JA静岡市 JA大井川 JAハイナン JA掛川市 JA遠州夢咲 JA遠州中央 JAとぴあ浜松	台風で農畜産物の被害を受けた組合員に 対し、低利の資金を対応	121	1,240.6
凍霜害・台風等の自然災害による 農業運転資金の対応	JA富士市	寒害や風水害等で農畜産物の被害を受 けた組合員に対し、低利の資金を対応	3	6.5
合計			156	1,333.2

## 4. JAバンク静岡講演会・セミナー等の開催

- JAバンク静岡では、お取引先様や系統団体等を招いたセミナーを開催し、異業種間の情報交流を促進しています。

### 【令和元年度講演会・セミナー開催実績】

講演会名	開催日	主催者	参加者	内容
アグリビジネスセミナー	令和元年 12月12日	静岡県・静岡県信連	60名	消費者ニーズを捉えた商品企画及びP R方法



生産者の皆様が安定した農業経営を実現させることを目的に、「消費者ニーズを捉えた商品企画及びP R方法」をテーマとして、オイシックス・ラ・大地株式会社の阪下利久氏を招いたセミナーを開催しました。



## 5. 経営不振農業者への経営改善支援

- JAバンク静岡では、負債整理資金の対応にあたり、再生計画の策定支援や経営指導など、農業者の経営改善支援に取り組んでいます。

### 【令和元年度の農業者への経営改善支援等の取組実績】

区分		期初経営改善 支援取組先 A	Aのうち再生計 画を策定 した先 a	Aのうち期末に 債務者区分が ランク アップした先 b	Aのうち期末に 債務者区分が 変化しなかった 先 c	事業計画 策定率 = a / A	ランク アップ率 = b / A
	正常先 ①	16	16		16	100.0%	
要 注 意 先	うちその他要注意先 ②	14	4	1	13	28.6%	7.1%
	うち要管理先 ③	—	—	—	—	—	—
	破綻懸念先 ④	9	8	—	4	88.9%	0.0%
	実質破綻先 ⑤	2	1	—	2	50.0%	0.0%
	破綻先 ⑥	—	—	—	—	—	—
	小計 (②～⑥の計)	25	13	1	19	52.0%	4.0%
	合計	41	29	1	35	70.7%	2.4%

※期初経営改善支援取組先及び債務者区分は令和2年3月末時点でのものです。

## 6. 事業性評価を通じた農業者の経営課題の把握・課題解決 ソリューションの提供・蓄積

### ～集出荷貯蔵施設建設に向けた資本供与～

- J A取引先である大規模農業者が集出荷貯蔵施設の建設を計画していたことから、J Aと静岡県信連、農林中央金庫、アグリビジネス投資育成(株)が連携し、担い手経営体応援ファンドによる出資、制度資金の活用による建設資金を支援いたしました。
- 出資を受けたことで、財務の安定化や対外的な信用力が増したこともあり融資審査も問題なくクリアされました。
- 引き続き、J A 営農、金融部門における支援がなされることから、静岡県信連では金融支援に加え、取引先等とのビジネスマッチングによる販路の確保支援等を図っていきます。



### **Ⅲ 経営の将来性を見極める融資手法をはじめ、 担い手に適した資金供給手法の徹底**

JAバンク静岡では、担い手の経営実態やニーズに適した資金の提供に努めています。

## 1. 負債整理資金の提供による償還負担の軽減支援

- JAバンク静岡では、農業者の債務償還負担を軽減し、経営再建を支援するため、負債整理資金を取扱っています。

### 【令和元年度負債整理資金の貸出実績】

(単位: 件、百万円)

資金名	実行件数	実行金額	令和2年3月末 残高
農業経営負担軽減支援資金	—	—	9
その他	—	—	127
合計	—	—	136

※「農業経営負担軽減支援資金」は、営農に必要な資金の借入により生じた負債の借換えのための制度資金であり、JAなどの融資機関において取扱っています。

## **IV 農山漁村等地域の情報集積を活用した 持続可能な農山漁村等地域育成への貢献**

JAバンク静岡では、地域社会へ貢献するため、次の取組みを行っています。

## 1. JAバンク食農教育応援事業の展開

- JAバンク静岡は、地域の小学生の農業に対する理解を促進するため、JAバンク食農教育応援事業を展開し、農業に関する教材「農業とわたしたちの暮らし」の配布や農業体験学習の受入れ等に取り組んでいます。
- 教材「農業とわたしたちの暮らし」は、JAバンクを通じて、県内534校の小学5年生（約4万1千人）に配布され、学校の授業等において活用されています。
- 令和2年3月16日（月）に静岡県教育委員会に目録を贈呈させていただきました。



写真左  
静岡県信用農業協同組合連合会  
前経営管理委員会会長 柴田 篤郎

写真右  
静岡県教育委員会  
教育長 木苗 直秀 様